

宮城県感染症発生動向調査情報

令和5年07月06日発行

2023.6.26 ~ 2023.7.2 - 第26週 -

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)	
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計
水痘	5 1.25			1 0.17		1 0.04	7 0.13	129
流行性耳下腺炎						7 0.26	7 0.13	61
感染性胃腸炎	26 6.50	16 1.60	7 1.17	8 1.33		139 5.15	196 3.56	8,692
手足口病		10 1.00	29 4.83	2 0.33	3 1.50	13 0.48	57 1.04	248
伝染性紅斑						2 0.07	2 0.04	28
突発性発しん	4 1.00	2 0.20	4 0.67	5 0.83	1 0.50	9 0.33	25 0.45	430
ヘルパンギーナ	72 18.00	99 9.90	170 28.33	93 15.50		438 16.22	872 15.85	2,352
インフルエンザ	5 0.71	6 0.38		1 0.10		2 0.05	14 0.15	8,296
新型コロナウイルス感染症	29 4.14	95 5.94	71 7.10	84 8.40	9 2.25	263 5.98	551 6.05	3,477 ※
咽頭結膜熱	1 0.25	6 0.60	4 0.67	5 0.83		9 0.33	25 0.45	377
流行性角結膜炎						2 0.33	2 0.17	69
急性出血性結膜炎							0 0.00	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6 1.50	6 0.60	1 0.17	4 0.67	1 0.50	17 0.63	35 0.64	605
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0 0.00	2
無菌性髄膜炎							0 0.00	1
マイコプラズマ肺炎						1 0.20	1 0.10	15
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	0
RSウイルス感染症	32 8.00	22 2.20	12 2.00	7 1.17		186 6.89	259 4.71	1,553
感染症胃腸炎(ロタウイルス)							0 0.00	0
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)				1			
	川崎病			1			2	
	不明発疹症						4	

※ 新型コロナウイルス感染症の累計は第19週からの数値

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(無症状病原体保有者)

石巻管内 女性1名

仙台管内 男性1名、男児1名 ※

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症

気仙沼管内 女性1名(O型不明)

仙台管内 女児1名 ※(O157)

4類感染症: E型肝炎

仙台管内 男性1名

レジオネラ症

大崎管内 男性1名

仙台管内 男性2名、女性1名

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

仙台管内 女性1名(Enterobacter cloacae)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

仙南管内 男性1名

梅毒

仙台管内 男性1名(第24週)、男性3名、女性1名

※男児、女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

【水痘】

仙南管内で注意報レベルを超えました。

【手足口病】

大崎管内で警報レベルを継続中です。

【ヘルパンギーナ】

塩釜管内で警報レベルを超えました。

仙南、大崎、石巻、仙台管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

手足口病患者より

大崎管内 第26週採取分 エンテロウイルスA71型 5件

ヘルパンギーナ患者より

大崎管内 第25週採取分 コクサッキーウイルスA4型 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	中間報告		
	確定	第24週採取分	第25週採取分
RSウイルス	1件	4件	8件
バラインフルエンザ4型	1件	0件	0件
バラインフルエンザ(解析中)	0件	0件	3件

第23週採取分 (6.5～6.11) 第24週採取分 (6.12～6.18) 第25週採取分 (6.19～6.25)

RSウイルス 1件 4件 8件

バラインフルエンザ4型 1件 0件 0件

バラインフルエンザ(解析中) 0件 0件 3件

【新型コロナウイルス ゲノム解析結果】

塩釜管内 第21週採取分 オミクロン株 FL.2(XBB.1.9.1.2) 1件

石巻管内 第24週採取分 オミクロン株 FL.4(XBB.1.9.1.4) 1件

4. 今週のコメント

【手足口病・ヘルパンギーナ】

例年夏季に流行がみられる小児の急性ウイルス性の感染症で、いわゆる夏かぜの代表的なものです。手足口病については、先々週から引き続き、大崎管内で警報レベルを継続中です。大崎管内の手足口病患者より検出されたエンテロウイルスA71型は、時に無菌性髄膜炎や脳炎等の中枢神経合併症を伴うことがあるので注意が必要です。

また、ヘルパンギーナについては患者数が増加しており、今週は塩釜管内で警報レベルを超えたほか、仙南、大崎、石巻、仙台管内で警報レベルを継続中です。感染経路は接触感染を含む糞口感染と飛沫感染です。家庭内のほか、学校・保育園等の集団生活での感染に特に注意し、予防対策に努めてください。

【新型コロナウイルス感染症】

今週の患者報告数は前週の425名から551名に増加しており、気仙沼を除いた全ての管内で増加しています。今後も動向に注意して、基本的な感染対策に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課

電話 022-211-2632(新型コロナウイルス感染症に関するお問い合わせ)

宮城県定点週報告対象疾病の推移

